

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	同志社高等学校
所在地	京都市左京区岩倉大鷲町89
電話番号	075-781-7121

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>「キリスト教主義」「自治・自立の自由主義」「国際主義」を教育の3本柱とし、新島 襄 が願った「良心を手腕に運用する」人物、「一国の良心」とも言うべき人物を輩出することを目的とする。</p>																																							
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>同志社大学・同志社女子大学への推薦入学制度を有し、毎年8割以上の生徒がその制度により進学している。それ以外の2割弱の生徒は他大学を受験するが、推薦希望、受験希望でコース制をとっていない。その他、文系、理系等についてもコース分けを行わず、様々な生徒が同じ教室で学ぶことを大切にしている。進路保障のため、高校2年生から多彩な「選択科目」を履修することで、各自の将来や適性に応じた学習を行っている。また、自然豊かで広大な校地に美しい校舎、そして複数面の人工芝のグラウンドを擁し、恵まれた環境で教育を行っている。</p>																																							
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり <u>なし</u></p> <p>・前回改定 平成22 年度</p>	<table border="1" data-bbox="781 1050 1839 1457"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>考査料</td> </tr> <tr> <td>130,000</td> <td></td> <td>736,000</td> <td>140,000</td> <td>876,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>736,000</td> <td>140,000</td> <td>876,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>736,000</td> <td>140,000</td> <td>876,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料	130,000		736,000	140,000	876,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				736,000	140,000	876,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				736,000	140,000	876,000	
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																	
	130,000		736,000	140,000	876,000	20,000																																		
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			736,000	140,000	876,000																																			
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			736,000	140,000	876,000																																			
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>DXの推進や法人内諸学校との業務連携を推し進め、学校経営の合理化・効率化を図る。また中学校と高等学校の経営統合により、安定的な財政基盤を確立する。納付金については、値上げせず据え置きとする。</p>																																							
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>すべてのHR教室に電子黒板が設置されており、一人一台のタブレット端末も完備している。また校内ネットワークにはWi-Fiで接続することができ、オンラインを利用した教育も行っている。それらの先進的なICT設備のほか、メディアセンターのプレゼンテーションステージ、礼拝堂内のパイプオルガン、理科の実験室など、充実した設備で多彩な教科、科目の教育をおこなっている。体育施設においては、南グラウンド（ラグビー、ラクロス、陸上競技等）、東グラウンド（硬式野球、サッカー等）、ハンドボールコートなど、人工芝のグラウンドのほか、四面のテニスコートが設置されている。また、新築された高校体育館「翼翔館」には、三つのアリーナ、多目的スペース等があり、一部を除いて空調も備え付けられている。</p>																																							
<p>(5) 令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>生徒等納付金及び補助金で構成される予算総額を、教育・研究水準の維持・向上をはかるため、重点的かつ効果的な予算配分を行って収支均衡に努める。 「教学のビジョン明確化」「施設整備計画」「財政基盤の確立」を安定的に確保することで、保護者・生徒にとっても、安心かつ将来展望を切り拓きうる教育環境を提供していく。</p> <p>学校独自の奨学・修学支援制度は、以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同志社中学校・高等学校特別奨学金 ・四方秀和奨学金 ・同志社中学校・高等学校学資貸与制度 																																							
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>教育研究水準の維持・向上をはかりつつ、財務内容を常に点検し収支均衡に努める。</p>																																							